



ドーピング検査に対応しよう

スポーツに参加するアスリートがクリーンであること、そしてスポーツがフェアに行われていることを証明するため、アスリートの皆さんはいつでも・どこでも検査対象となる可能性があります。

▶検査の手順を動画で確認!



ドーピング検査はどのように行われるの?

- ドーピング検査は、アンチ・ドーピング機関や国際競技連盟より、国際基準に則って行われ、尿や血液を検体として採取します。
- ドーピング検査には、競技会で行われる「競技会検査」と競技会以外の期間や場所(自宅やトレーニング場所)で行う「競技会外検査」があります。いつ・どこで・誰が対象か、事前に公開されることはありません。
- 1回の検査で禁止物質が検出されなかったとしても、何度も検査・分析を重ねることで異常な変化を検出し、違反が判明する場合があります(アスリート・バイオロジカル・パスポート)。

検査の手順

尿検査	血液検査
1 検査通告を受けたら通告書に署名し、検査室へ移動する	1
2 採取カップを1つ選ぶ	2 椅子に座って安静にする
3 検査員立会いのもと採取を行う	3 書類を記入し問診を受ける
4 複数のサンプルキットから1つ選び、不審な点(未開封か等)がないか確認する	4
5 尿を2つのボトルに分けて封筒に封入し提出する	5 採血を行いボトルに封入し提出する
6 検査前7日間に使用した薬等の申告・記入内容の確認	6

『公式記録書』に署名して検査終了

検査で「すべきこと」と「できること」

すべきこと	検査中	できること
検査中は必ず検査員またはシャベロン(検査時の指導員)から見える場所にいること	写真付き身分証明書を検査員に提示すること ※競技会ADカード、パスポート、学生証、運転免許証など	検査手順などの疑問点を質問すること ※検査に対する不審点などは公式記録として書き残すことができる
検査中は必ず検査員またはシャベロンの指示に従うこと	正当な理由がない限り、通告後すぐにドーピング検査室へ行くこと	身体障がいやケガで検査への対応が難しい場合に、検査員に許可を得て同伴者などに補助してもらうこと

※規程では、18歳以上のアスリートを「成人」と定義しており、18歳未満の「未成年」に対しては、特別措置として、検査への成人の付き添い、親権者の同意書提出が必須となります。

RTP/TPに登録された皆さんへ

※RTP…登録検査対象者リスト/TP…検査対象者リスト

国際競技連盟(IF)やアンチ・ドーピング機関(日本ではJADA)から「RTP/TP」に登録されたアスリートは、日本や世界を代表するトップアスリートです。RTP/TPは、自らがクリーンであることを証明できるよう、自分の居場所を特定する「居場所情報」を提出し、その情報をもとに行われるドーピング検査に対応する義務があります。

どうやってクリーンであることを証明するの?

RTP/TPへ登録されたら、「ADAMS」というインターネット上のWEBシステムもしくは「Athlete Central」というスマートフォン/タブレット用アプリから、自分の毎日の居場所情報を提出・更新し、いつでも・どこでも検査が受けられるようになります。

『居場所情報』として提出・更新する内容

60分時間枠

アスリートが5~23時までの間で1日1回指定する60分の時間と場所。この枠は右記の検査未了のルールが適用される時間となります。

宿泊先

競技に関する情報
(トレーニングや競技会の情報など)

※ドーピング検査は「60分時間枠」のみ実施されるということではありません。
「60分時間枠」以外でも検査は行われます。

RTPのみ 2つの居場所情報関連義務違反

- 提出義務違反**
 - 提出期限までに居場所情報を提出しなかった場合
 - 提出された情報に不備があった場合
 - 更新を行わなかった場合
- 検査未了**
 - 「60分時間枠」内に指定した時間と場所で検査に応じなかった場合(検査員がアスリートと会うことができなかった場合)

⇒ いずれかが12ヶ月の間に3回累積すると、アンチ・ドーピング規則違反です。
※TPの場合、罰則はありませんが、所属競技団体等の関係機関へ報告の上、RTPへ変更の可能性があります。

つねに最新の情報に更新

- 提出が完了している居場所情報についても、変更がある場合は随時最新の情報に更新しましょう。
- 提出期限や更新方法等がFとJADAで異なる場合があるため、自分がどこからRTP/TP登録されているのか確認し、ルールに従いましょう。



フェア プライド

FAIR PRIDEガイド

— アンチ・ドーピングの基礎知識 2021 CODE —



アンチ・ドーピングは、

スポーツを成り立たせている「みんながフェアであること」

そして、「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。

アスリートの皆さんが、フェアであることの誇りを胸に、

すばらしいスポーツの価値を広めるためにも

アンチ・ドーピングのルールを学び、行動につなげていきましょう。



ルールを知ろう

「世界アンチ・ドーピング規程」は、ドーピングのないスポーツに参加するアスリートの権利と健康を守るために、世界中のアスリートや競技団体などの意見を集約してつくられた、全世界・全スポーツ共通のルールです。規程では、アスリートとして「果たすべき責務(すべきこと)」「行使することができる権利(できること)」や「アンチ・ドーピング規則違反」等が定められています。最新のルールや情報を確認し、自らクリーンであることを証明しましょう。

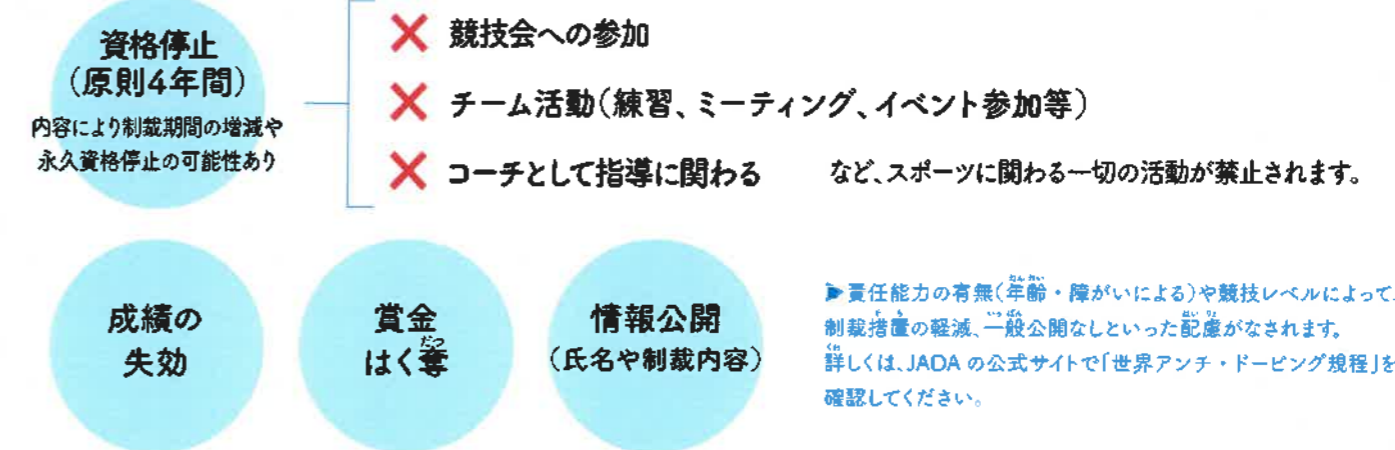
どんなことが違反になるの?

11項目のアンチ・ドーピング規則違反

- 01 採取した尿や血液に禁止物質が存在すること
- 02 禁止物質・禁止方法の使用または使用を企てること
- 03 ドーピング検査を拒否または避けること
- 04 居場所情報関連の義務を果たさないこと
※裏面「RTP/TPIに登録された皆さんへ」を参照
- 05 ドーピング・コントロールを妨害または妨害しようとする事
※ドーピング・コントロールとはドーピング検査の立案から制裁執行までの一連の流れのこと
- 06 正当な理由なく禁止物質・禁止方法を持っていること
- 07 禁止物質・禁止方法を不正に取引し、入手しようとする事
- 08 アスリートに対して禁止物質・禁止方法を使用または使用を企てること
- 09 アンチ・ドーピング規則違反を手伝い、促し、共謀し、関与する、または関与を企てること
- 10 アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で関係を持つこと
- 11 ドーピングに関する通報者を阻止したり、通報に対して報復すること
※報復とは、通報する本人、その家族、友人の身体、精神、経済的利益を脅かす行為のこと

違反が確定したらどうなるの?

規程にもとづき以下のような制裁が課されます。



※チーム競技の場合は、チーム員3人以上の違反で、アスリート個人だけでなくチームへの制裁が課される可能性があります。(大会主催者がより厳しいルールを定める場合あり)

違反の特定には、ドーピング検査だけでなく、通報窓口を通じて提供された情報も重要な手がかりとなります。違反が疑われる行爲を見たり、聞いたりしたら、日本スポーツ振興センターの「ドーピング通報窓口」へ。



日頃から注意しよう

禁止されている物質・方法を使用した場合、意図的であったかどうかにかかわらず違反となります(厳格責任)。飲料の管理や薬を服用する前の確認など、身体に摂り入れるものは自分で責任を持って管理しましょう。

禁止されている物質・方法とは?

全世界・全スポーツで使用禁止の物質・方法は、「禁止表国際基準」で定められ、少なくとも毎年1月1日に更新されます。

最新の禁止表をJADA公式サイトでチェック!

<https://www.playtruejapan.org/code/rule/substances.html>



サプリメント・漢方薬のリスク

サプリメントや栄養ドリンクは、商品の全成分を明示する義務のない「食品」に分類されるため、ラベルに記載のない物質が製品に含まれている可能性があります。また、医薬品であっても「漢方薬」(生薬)は動植物が原料のため、含有物質が明らかになっているわけではありません。そのため、これらの製品は、専門家やDROで確認しても禁止物質の有無が判断できません。

自身の確認はもちろん、専門家へのダブルチェックを行いましょう。メールやFAXでの問い合わせ履歴やDROでの検索結果は必ず保存しましょう。



アスリート
相談 検索



スポーツファーマシスト
禁止薬物やTUEに関する知識を有する薬剤師に相談



Global DRO
医薬品に禁止物質が含まれていないか検索

医療機関でアスリートが確認すること

医療機関では、次のことをアスリート自ら医師・薬剤師に行ってください。

- 1 必ず自分がアスリートであること、スポーツで使用が禁止されている物質・方法があることを伝える
- 2 医師・薬剤師に最新の禁止表やアンチ・ドーピングに関する情報を案内する
JADA 医療 検索
- 3 禁止物質・方法を使用せずに治療できるか確認する



禁止物質・方法を使う以外に治療方法がない場合はTUE(治療使用特例)申請

TUEの申請には医師の診断と医療情報が必要です。TUEの申請ステップを確認しましょう。TUEを取得するには、4つの条件をすべて満たしていることが必須となります。審査の結果「付与」の判定により、治療に対する禁止物質・方法の使用が認められます。

